

令和6年度
朝霞市立朝霞第八小学校
グランドデザイン



【学校教育目標】
人間尊重の精神を基調とし、
知・徳・体の調和のとれた
健康で人間性豊かな子供の育成を目指す

学校の概要
創立 昭和51年4月1日（49年目）
児童数 1138名（4月1日現在）
学級数 37学級
教職員数 51名（県費教職員）

- ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法
- ・第3期埼玉県教育振興基本計画
- ・学校教育法施行令及び同施行規則等
- ・文部科学省小学校学習指導要領
- ・「令和の日本型学校教育」の構築
目指して（中央教育審議会）
- ・次期教育振興基本計画の策定について
（中央教育審議会）

- ・学校保健安全法・学校給食法等
- ・令和6年度埼玉県教育行政重点施策
- ・埼玉県 指導の重点・努力点
- ・第2期朝霞市教育振興基本計画
- ・基本理念
「心豊かに生きる力を育む朝霞の教育」
- ◎保護者の願い
- ◎地域の願い
- ◎教師の願い

《目指す児童像》

《かしこく》 ・よく聴き、よく考え、自分の言葉で表現できる子供
・自分で判断し、行動する子供

《やさしく》 ・相手の気持ちや状況を考えて、仲良く協力し合える子供
・元気に挨拶や返事ができ、ふれあいを大切にする子供

《たくましく》 ・困難にくじけず、最後までがんばろうとする子供
・めあてを持って、進んで運動に取り組む子供
・健康や安全に気を付けて生活できる子供

**《目指す学校像》 教育は子供の未来づくり
— 児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校 —**

- ・感動があり、学ぶ喜びを感じる学校
- ・活力がみなぎり、安全・安心で楽しい学校
- ・個性が尊重され、互いが認め合える学校
- ・社会の変化を捉え、変化に対応できる学校

《目指す教師像》

- ・児童一人一人の意欲や可能性を引き出して伸ばす教師
- ・豊かな人間性を持ち、児童一人一人の心に寄り添う教師
- ・自らの心身の健康に留意をし、職務に全力を尽くす教師
- ・絶えず研修に努め、児童や保護者から信頼される教師

学校経営方針

- 1 全教職員の創意と知恵を活かしながら、学校教育目標の具現化を図る。
- 2 教育活動全体を通じて、児童理解に立脚した児童第一主義の教育を実践する。
- 3 児童一人一人が自分のよさに気づき、他者と認め合える教育活動を展開する。
- 4 児童が夢を持ち、その実現に向けて努力ができるよう、教育環境を整備する。
- 5 家庭や地域と連携を深め、地域に根ざした信頼される学校づくりに努める。

重点目標 朝霞市教育振興基本計画に基づき教育活動の一層の充実を図る。

1 確かな学力の向上

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の実践
- 指導目標を明確にした分かる授業の実践
- オンラインドリル等の活用による学力の確実な定着

2 豊かな心の育成

- 豊かな人間性を育む道徳教育の充実
- 児童の主体性を発揮させる自治的な活動の充実
- 「学びをとめない」教育支援の充実

3 健やかな体の育成

- 運動量を確保し、運動の楽しさを味わわせる体育授業の展開
- 運動の日常化
- 新体力テストの判定結果を踏まえた体育授業の工夫改善
- 自らの健康に関心を持ち、健康増進に励む食育の推進

4 安全・安心な学校づくりの推進

- 地震・火災・不審者等の避難訓練実施
- ショート避難訓練実施
- 安全な廊下歩行（走らない、騒がない、右側通行）の徹底
- 事故防止年間計画による事故未然防止の徹底

5 特別支援教育の充実

- 支援や配慮を要する児童の把握と校内支援体制の充実
- 個に応じた、きめ細やかな指導の実践
- 保護者との積極的な連携
- 特別支援教育に係る研修の推進

6 特色ある学校づくりの推進

- 「八枚のはね」との連携の推進
- 学校ファームにおける体験活動の充実
- 地域人材活用による授業の実践
- 地域施設を活用した教育活動の実施

7 研究・研修の推進(人材育成)

- 学校課題研究への取組（小学校体育授業研究校）
- 学校運営への参画意識の向上
- 教職員事故根絶
- 教職経験やライフステージに応じた研修への意欲的参加

8 開かれた学校づくりの推進

- コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の充実
- HPや各種たよりによる情報発信
- 学校公開の推進
- 学校評価による教育活動の改善
- 関係機関等との連携

9 働き方改革の推進

- 校務システムの活用による事務負担軽減
- タイムマネジメントの視点での校務見直し意識改革
- 各学校行事計画の改善